



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

早く耕起→フリグロックスL→除草剤→除草剤 大豆あとの小麦播種 イタリアンライグラス対策

12月上中旬頃

**大豆を収穫したら
すぐに耕起!!**

耕起して1か月そのまま放置

1月上中旬頃
播種3日前



フリグロックスL散布で
雑草を枯らす

1月上中旬頃



小麦播種
播種量を増やす(15kg/10a)

播種後に
除草剤散布(ボクサー)

2月上中旬頃



播種1か月後(小麦2葉期)
除草剤散布(リベレーター)

小麦収穫
6月下旬頃を目指します。

耕起して1か月間そのまま放置することで、
雑草イタリアンライグラスを出芽させます。

生えてきた雑草を枯らすために、小麦播種3日前に
フリグロックスLを散布します。

《フリグロックスL》

気温に影響されず、光の量で枯らすので、
寒い時期でも大きくなった雑草をすばやく
枯らすことができます。

10a散布量 水100ℓ + 薬1ℓ (100倍液)



耕起してから1か月の間
播種作業を待つため

どうしても播種時期が遅れます。

生育量を確保するために播種量を増やします。

小麦播種量の目安 15kg/10a

播種後の土壌処理型除草剤は、2回散布します。

除草剤1回目 播種後に **ボクサー**

10a散布量 水100ℓ + 薬500ml



除草剤2回目 1か月後に **リベレーター**

10a散布量 水100ℓ + 薬80ml

※ 約1か月後から除草効果が切れ始め、
2回目の除草剤を追加散布。
後から発生した雑草を防除します。

